

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

緩和ケア病棟における緊急入院症例の実態およびその要因に関する後方視的検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに昭和医科大学横浜市北部病院緩和医療科に入院した患者さん

### 2. 研究目的・方法

本研究では、緩和ケア病棟に緊急入院された患者さんについて、その入院の理由や背景を調べることを目的としています。

近年、がん患者さんがご自宅などで療養される機会が増えていますが、症状が急に悪化した場合やご自宅での療養が難しくなった場合には、緩和ケア病棟への緊急入院が必要となることがあります。

しかし、どのような理由で緊急入院に至るのかについては、十分に明らかになっていません。

本研究では、診療録に記録されている情報をもとに、入院のきっかけとなった症状や状況を整理し、その特徴を明らかにします。これにより、今後の医療や在宅療養の支援の改善につなげることを目指します。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 3 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録から以下の情報を収集します。

患者さんの基本情報として、年齢、性別、原発のがんの種類、転移の状況、入院前の療養場所、日常生活の状態（Performance Status）、同居家族の有無、同居家族の年齢、同居家族の性別、原発のがんの種類、転移の状況、入院前の療養場所について収集します。

また、緊急入院に関する情報として、入院のきっかけとなった主な症状や状況、在宅医療や訪問看護の

利用状況を収集します。

さらに、入院後の経過として、主な治療やケアの内容、採血データ、入院期間、退院先や転帰に関する情報を収集します。

#### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

#### 6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学横浜市北部病院病院 緩和医療科 望月健一

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 緩和医療科

氏名：望月健一

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000